YA新聞

仕事に関する本特集

『オレたちの明日に向かって』

八束澄子/著
ポプラ社

平凡な男子中学生、花岡勇気。背が高いことが有利になるかと入ったバスケ部では、監督に怒られてばかりのさえない日々。

あるとき、保険代理店の今井さんのもとで3日間ジョブトレーニングをすることに。様々な境遇の人と出会うなかで、勇気の中の何かが変わっていく。

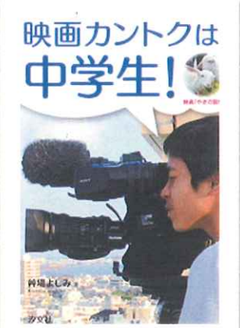
『人間関係がニガテでもうまくいく転職ガイド』

造事務所/編著
廣済堂出版

数ある前向きな職業ガイド本の中で、唯一（？）人と接しなくてもできる仕事を紹介している本。人間関係が苦手、自分の世界に浸りたい、でもやる気はある…。そんな人も仕事はできるし、立派な社会の一員だ。自分をいろいろな角度から見つめ、多様な仕事のスタイルを知っておこう。

もちろん大人にも参考になる職業ガイド本。

『映画カントクは中学生！』



帅場(くさば)よしみ/著
汐文社

日本史上最年少の14歳で映画監督デビューを果たした中村颯悟（りゅうご）さん。

彼は小学生の時から、ビデオカメラで映画を撮るのが大好きでした。脚本を書くのも、出演者を集めるのも、もちろん撮影したビデオの編集も、映画作成に関わることはなんでもやっていました。

そんな彼が中学1年の時、沖縄をテーマとするドラマの企画に応募して見事選ばれた作品『やぎの散歩』で、監督として映画を作り上げるまでとその後がつづられたノンフィクションです。

好きこそものの上手なれ！

『ちょっと今から仕事やめてくる』

北川恵海/著
㈱KADOKAWA
ｱｽｷｰ・ﾒﾃﾞｨｱﾜｰｸｽ文庫

ブラック企業とされる会社で働き、毎日こき使われ、もうウンザリになってしまった主人公。

そんな時助けてくれたのは、意外な人物でした。

何のために仕事をするのか？誰のために仕事をするのか？

今働いている人、これから働く人にもぜひオススメの本です。

『わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて。』

岩附由香/著
合同出版

みなさんはチョコレートが好きですか？そのチョコレートの原料であるカカオ豆を作るために、多くの子どもたちが働かされています。

学んだり遊んだりという私たちにとって当たり前のことができない子どもたちがこの世界にたくさんいることを考えてみませんか？

『仕事を選ぶ』先輩が語る働く現場64

朝日中学生ｳｨｰｸﾘｰ/編著
朝日学生新聞社

世の中には実に多くの仕事がありますが、この本は、働く大人の実際の現場を紹介しています。その職業に就くための心がけやアドバイスなど、読みごたえあり！

まだ目標が定まっていなくても、未来の自分の姿を想像できるようになるといいですね。

阿刀田高先生の特別授業のお知らせ

ギリシャ神話　西洋文化の起源ー神話の面白さ

日時　11月6日（金）
13時45分～14時45分

会場　高井戸中学校
1階多目的ホール

対象　高井戸中学校1年生
その保護者および地域にお住まいの方